

北大揭示用

神経内科に、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ  
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 神経疾患の診断及び進行度評価に役立つバイオマーカーの探索に関する研究

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 矢部 一郎・北海道大学病院 神経内科

[共同研究機関名・研究責任者名]

岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野・下畑享良

[既存試料・情報の提供のみを行う機関]

帯広厚生病院・加納 崇裕、保前 英希

旭川赤十字病院・浦 茂久

釧路労災病院・津坂 和文

北海道医療センター・南 尚哉

市立札幌病院神経内科・田島 康敬

北祐会神経内科病院・森若 文雄

北海道脳神経外科記念病院・緒方 昭彦

禎心会病院・北川 まゆみ

市立稚内病院・國枝 保幸

さっぽろ神経内科クリニック・深澤 俊行

いわみざわ神経内科・伊藤 和則

えべつ神経内科・柳原 哲郎

[研究の目的]

この研究は、IgLON5 という神経細胞に発現している蛋白質に対する自己抗体を、神経変性疾患の患者さんの血液中で検索し、この抗体が陽性の患者さんに対し免疫治療による症状改善につなげる研究です。本研究により抗 IgLON5 抗体陽性疾患の病態解明および診断・治療法の開発につながります。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2011年5月27日～2020年7月31日までに、研究課題名(神経疾患の診断及び進行度評価に役立つバイオマーカーの探索に関する研究)で、血清や血漿が保存され、検体の2次利用の同意が得られている大脳皮質基底核症候群/進行性核上性麻痺/多系統萎縮症/前頭側頭型認知症患者さん

○利用する検体・カルテ情報

2020年6月15日

検体:血液

カルテ情報:生年月日、性別、身長、体重、既往歴、家族歴、生活歴、診断名、臨床経過、神経学的所見、治療内容・効果、検査・画像データ(血液一般、生化学、頭部MRI、脳血流シンチ)

この研究は、岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野で実施します。上記の検体及び情報は、抗 IgLON5 抗体の解析のため、対応表を作成し、匿名化したものを岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野に提供いたしますが、対応表の提供はいたしません。提供する血液・情報は、郵送もしくは宅配便で送付し、研究期間中、提供先に送付する毎に血液・情報の提供に関する記録を作成し、岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野内の外部から切り離されたコンピュータのハードディスク内に保存いたします。

[研究実施期間]

実施許可日～2025年3月31日(登録締切日:2024年12月31日)

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\* 上記の研究に情報を利用することを ご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院神経内科 担当医師 矢部 一郎

電話 011-706-6025